

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S5 #5 Top 10 Japanese Holidays: Omisoka/New Year's Eve

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 3 Romanization
- 4 English
- 5 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 6 Grammar

5

KANJI

1. 大晦日
2. 12月31日を「大晦日（おおみそか）」と呼ぶことは、日本語上級者の皆さんなら当然ご存知でしょう。
3. では、大晦日の深夜に聞こえる音はどんな音？答えは「ゴーン、ゴーン」という寺の鐘。一年を締めくくり、新年を迎えるための年中行事、「除夜の鐘」です。「除夜の鐘」の「除」は「取り去る、押しよける」という意味。大晦日は別名「除日（じょじつ）」とあって、今までの一年を取り除いて新年を迎える日なので、その夜は「除夜」と呼ばれるのです。
4. さて、除夜の鐘は仏教の行事で、平安時代から習慣化されました。この鐘は12月31日の深夜12時をはさむ時間帯に108回鳴らされ、この108という数の由来には諸説あります。その中で最も有力なのは、人間の持つ「煩惱」が百八つあるから、という説。煩惱とは仏教用語で、「心身の苦しみを生み出す精神のはたらき」のこと。簡単に言うと誰かに腹を立てたり、誰かを憎んだりする気持ちや金や物を人よりたくさん所有したいという欲望のことです。これらを追い払い、清らかな気持ちで新たな年を迎えるために鐘がつかれるのです。
5. そんな「除夜の鐘」を聞きながら食べるのが「年越しそば」ですが、この習慣は、江戸時代から広まったといわれています。この「年越しそば」には面白いジンクスがあります。それは「年越しそばを残すと翌年金運に恵まれない」というもの。そば粉は、金細工職人が飛び散った金粉を集めるのに使ったことから、そば粉は「金（かね）を集める」縁起のいいものと考えられていたからではないかといわれています。

KANA

1. おおみそか

CONT'D OVER

2. じゅうにがつさんじゅういちにちを「おおみそか」とよぶことは、にほんごじょうきゅうしゃのみなさんならとうぜんごぞんじでしょう。
3. では、おおみそかのしんやにきこえるおとはどんなおと？ こたえは「ゴーン、ゴーン」というてらのかね。いちねんをしめくくり、しんねんをむかえるためのねんちゅうぎょうじ、「じょやのかね」です。「じょやのかね」の「じょ」は「とりさる、おしのける」といういみ。おおみそかはべつめい「じょじつ」といって、いままでのいちねんをとりのぞいてしんねんをむかえるひなので、そのよるは「じょや」とよばれるのです。
4. さて、じょやのかねはぶつきょうのぎょうじで、へいあんじだいからしゅうかんかされました。このかねはじゅうにがつさんじゅういちにちのしんやじゅうにじをはさむじかнтаいにひゃくはっかいならされ、このひゃくはっかいというかずのゆらいにはしよせつあります。そのなかでもっともゆうりよくなのは、にんげんのもつ「ぼんのう」がひゃくやつつあるから、というせつ。ぼんのうとはぶつきょうようごで、「しんしんのくるしみをうみだすせいしんのはたらき」のこと。かんたんというたれかにはらをたてたり、だれかをにくんだりするきもちやかねやものをひとよりたくさんしよゆうしたいというよくぼうのことです。これらをおいはらい、きよらかなきもちであらたなとしをむかえるためにかねがつかれるのです。
5. そんな「じょやのかね」をききながらたべるのが「としこしそば」ですが、このしゅうかんは、えどじだいからひろまったといわれています。この「としこしそば」にはおもしろいジンクスがあります。それは「としこしそばをのこすとよくねんきんうんにめぐまれない」というもの。そばこは、きんざいくしよくにんがとびちったきんぷんをあつめるのにつかったことから、そばこは「かねをあつめる」えんぎのいいものとかんがえられていたからではないかといわれています。

ROMANIZATION

1. Ōmisoka

2. Jūni-gatsu sanjūichi-nichi o "ōmisoka" to yobu koto wa, nihongo jōkyūsha no mina-san nara tōzen gozonji deshō.
3. Dewa, ōmisoka no shinya ni kikoeru oto wa don'na oto? Kotae wa " gōn, gōn" to iu tera no kane. Ichi-nen o shime kukuri, shin'nen o mukaeru tame no nenchū gyōji, "joya no kane" desu. "Joya no kane" no "jo" wa "torisaru, oshinokeru" to iu imi. Ōmisoka wa betsumei "jojitsu" to itte, ima made no ichi-nen o torinozoite shin'nen o mukaeru hi na no de, sono yoru wa "joya" to yobareru no desu.
4. Sate, joya no kane wa bukkyō no gyōji de, Heian jidai kara shūkanka saremashita. Kono kane wa jūni-gatsu sanjūichi-nichi no shinya jūni-ji o hasamu jikantai ni hyakuhakkai narasare, kono hyakuhakkai to iu kazu no yurai ni wa shosetsu arimasu. Sono naka de mottomo yūryoku na no wa, ningen no motsu "bon'nō" ga hyaku yattsu arukara, to iu setsu. Bon'nō to wa bukkyō yōgo de, "shinshin no kurushimi o umidasu seishin no hataraki" no koto. Kantan ni iu to dareka ni hara o tatetari, dareka o nikundari suru kimochi ya kane ya mono o hito yori takusan shoyū shitai to iu yokubō no koto desu. Korera o oiharai, kiyoraka na kimochi de arata na toshi o mukaeru tame ni kane ga tsukareru no desu.
5. Sonna "joya no kane" o kiki nagara taberu no ga "toshikoshi soba" desu ga, kono shūkan wa, Edo jidai kara hiromatta to iwarete imasu. Kono "toshikoshi soba" ni wa omoshiroi jinkusu ga arimasu. Sore wa " toshikoshi soba o nokosu to yokunen kin'un ni megumarenai" to iu mono. Sobako wa, kinzaiku shokunin ga tobichitta kinpun o atsumeru no ni tsukatta koto kara, sobako wa "kane o atsumeru" engi no ii mono to kangaerarete ita kara de wa nai ka to iwarete imasu.

ENGLISH

1. "Ōmisoka"/"New Year's Eve"
2. You all who speak Japanese at an advanced level will of course know that we call the thirty-first of December "ōmisoka."

CONT'D OVER

3. So what's the sound you hear in the middle of the night on "ōmisoka?" The answer is the "dong, dong" of the temple bells. This is an annual event called 除夜の鐘 ("joya no kane," or "the bells of New Year's Eve"), which brings to a close one year and welcomes in a new one. The character 除 ("jo") of 除夜の鐘 means "to get rid of" or "to brush aside." An alternative name for "ōmisoka" is 除日 ("jojitsu"). It's the day on which the previous year is cleared out and a new one is welcomed, so the evening of that day is called 除夜 ("joya").
4. Now, "joya no kane" is a Buddhist tradition that has been common practice since the Heian era. The bells are rung 108 times at midnight on the thirty-first of December. There are various theories regarding origin of this number, 108. The most likely of these is the idea that humans are born with 108 "bon'nō," or "worldly desires." "Bon'nō" is a Buddhist term that refers to "the workings of the heart that lead to the suffering of the mind and body." To put it simply, this means the feeling of anger or hatred toward others or the desire to possess more money or worldly possessions than others. The bells are rung in order to drive out these feelings and to welcome in a new year with a sense of purity.
5. The thing that you eat while listening to these "joya no kane" is "toshikoshi soba," or "passing-year soba." This is a custom that is said to have spread from the Edo period. There's actually an interesting jinx that goes with "toshikoshi soba"; if you leave any soba noodles, then you won't be blessed with luck with money in the coming year. It's said that this is possibly due to the fact that soba flour was used by goldsmiths to gather up fallen gold dust; soba flour was considered to be a lucky foodstuff that "gathered up gold (money)."

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
金粉	きんぷん	kinpun	gold dust
金細工職人	きんざいくしよくに ん	kinzaiku shokunin	goldsmith
欲望	よくぼう	yokubō	desire, appetite
所有	しよゆう	shoyū	ownership, one's possessions
憎む	にくむ	nikumu	to hate;V1

精神	せいしん	seishin	mind, soul, spirit, heart
仏教	ぶっきょう	bukkyō	Buddhism
深夜	しんや	shinya	late at night
鐘	かね	kane	bell, chime
諸説	しょせつ	shosetsu	various theories

SAMPLE SENTENCES

<p>この絵には金粉が使われています。 <i>Kono e ni wa kinpun ga tsukawarete imasu.</i></p> <p>Gold dust was used in this painting.</p>	<p>金細工職人に指輪をつくってもらった。 <i>Kinzaiku shokunin ni yubiwa o tsukutte moratta.</i></p> <p>I had a goldsmith make a ring.</p>
<p>「欲望という名の電車」という映画を観た。 <i>"Yokubō to iu na no densha" to iu eiga o mita.</i></p> <p>I saw a movie called "A Streetcar Called Desire".</p>	<p>彼は高級車を3台所有している。 <i>Kare wa kōkyūsha o san-dai shoyū shite iru.</i></p> <p>He possesses three luxury cars.</p>
<p>罪を憎んで人を憎まず。 <i>Tsumi o nikunde hito o nikumazu.</i></p> <p>Condemn the crime rather than the criminal.</p>	<p>私の兄は少し精神的に不安定だ。 <i>Watashi no ani wa sukoshi seishinteki ni fuantei da.</i></p> <p>My brother is somewhat mentally unstable.</p>
<p>日本人の9割は仏教徒だ。 <i>Nihonjin no kyūwari wa bukkuyōto da.</i></p> <p>90 percent of Japanese people are Buddhist.</p>	<p>深夜、女の人悲鳴が聞こえた。 <i>Shinya, onna no hito no himei ga kikoeta.</i></p> <p>In the middle of the night, I heard a woman scream.</p>
<p>駅前の時計は12時になると鐘が鳴ります。 <i>Ekimae no tokei wa jūni-ji ni naru to kane ga narimasu.</i></p> <p>The clock in front of the station chimes at 12 o'clock.</p>	<p>この習慣の始まりについては諸説ある。 <i>Kono shūkan no hajimari ni tsuite wa shosetsu aru.</i></p> <p>There are several theories about how this custom has started.</p>

GRAMMAR

Yuichi: オーディオブログ第5シーズン第5課 「大晦日」

Jessi: こんにちは ジェシーです。

Yuichi: ゆういちです。このシリーズでは、ジェシーさんと一緒に「日本の行事・祝日」を紹介してきましたが、この行事・祝日シリーズは、今回が最後です。

Jessi: では、最後に紹介する日本の行事は？

Yuichi: 「大晦日」です。 Jessi: では、聞いてみてください。

ブログ本文

Yuichi: さて、とうとう最後の行事の紹介ですね。

Jessi: そうですね！

Yuichi: この最後の行事にふさわしいということで「大晦日」なんですが、ジェシーさんは今まで大晦日は日本で過ごしたことがありますか。

Jessi: あります！京都出身の友達の実家に行って大晦日とお正月を過ごしたことがあります。

Yuichi: なるほど！それは日本的な

Jessi: そうですね、はい。

Yuichi: いいですね。

Jessi: 祐一さんは？大晦日は普段何をするんですか？

Yuichi: 僕は、普段は友達と飲むことが多いですかね。

Jessi: どこで、飲むんですか？

Yuichi: 普通に居酒屋で。

Jessi: 本当ですか。

Yuichi: はい。だいたい大晦日だと夜遅くまでやっているっていうお店もあるので

Jessi: あー、なるほど。

Yuichi: そこで飲んだりしますね。

Jessi: ところで少し気になることがあったんですけど、ブログに出てきた「除夜の鐘」ですけど、その鐘は、お寺の人がならすんですか？それとも、お寺に来たお客さんがならすんですか？

Yuichi: おおお！それはなかなかいい質問ですね。答えなんですけれども、お寺によります。お坊さんが108回、全部、つくところもありますし、一般のお客さんにつかせてくれるところもあるんですよ。

Jessi: へー。じゃ、私たちでも並べばつけるんですか、除夜の鐘。

Yuichi: もちろんです。でも、すごく並びますよ。

Jessi: そうですね。しかも、寒いそうですね。

Yuichi: はい、そうなんですよね。で、真夜中ですから、めちゃくちゃ寒いわけで。

Jessi: そうですね。

Yuichi: ジェシーさん、お寺の鐘は実際に見たことがありますか？大きくて、太い丸太で突くやつなんですけども。

Jessi: はい。京都に行ったときに何回か見た事あります。

Yuichi: あれって、上手に鳴らすの難しいんですよ。やった事があるんですけども、ちょっとしたコツがあるんですね。「ゴーン」といい音をならすのは難しいと思いますね。

Jessi: せっかく並んで、いい音が出なかったら、がっかりしちゃいますね。

Yuichi: そうですね。鐘は煩惱の数つまり、108回鳴らされるんですけども、みんなが鐘をつきたくて並んでいるので、一人一回しかチャンスはないですからね。

Jessi: なるほど。じゃ、109番目に並んだひとは鐘がつけられないんですね？

Yuichi: はい、残念ながらつけませんね。

Jessi: 残念です・・・。

Yuichi: そういえば、「煩惱」って単語はすごい難しいですよ。これは英語だとなんていうんでしょうか？

Jessi: うーん。"worldly desires"とか"evil passions"ですかね。

Yuichi: なるほど。ちなみに、除夜の鐘の数、108回ってというのは、この煩惱の数だとブログには紹介してありましたけども、他にも実は説があるみたいです。

Jessi: どんな説ですか？

Yuichi: えっと、四苦八苦って四字熟語は知ってますか。

Jessi: しくはっく？ four and eight kinds of suffering?

Yuichi: はい。直訳するとそうなりますね。「とても苦労する」という意味なんですけども、人間の全ての苦しみ・・・と指すんだそうです。

Jessi: へー。

Yuichi: はい、そうなんです。この「しくはっく」の「く」の部分は「九」という数字の意味にもなりますよね？だから、四苦八苦を数字にすると？

Jessi: し・く・はっ・く・・・だから・・・ $4 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 9$?

Yuichi: そうですね。じゃ、これちょっと計算します。 4×9 は？

Jessi: Four times nine は thirty-six... 三十六

Yuichi: 36ですね。じゃ、「はっく」の 8×9 は？

Jessi: Eight times nine は seventy-two... 七十二

Yuichi: じゃ、その36と72を足すと？

Jessi: thirty-six plus seventy-two?... one hundred and eight! あ！108ですね。

Yuichi: はい、その通りです。四苦八苦・・・つまり、「人間の全ての苦しみ」をなくすために、108回除夜の鐘をつくという説があるということです。

Jessi: なるほど～。苦しみがなくなって、気分よく新しい年を迎える・・・ということなんです。

Yuichi: その通りです。リスナーの皆さんの国では、大晦日の日つまり12月31日はどう過ごしてるんでしょうね？是非教えてください。

Jessi: コメント待っています。

Yuichi: それじゃまた次回。Jessi: さようなら。